

目次

第Ⅰ部 計画の趣旨	1
1 計画の背景	1
2 計画の位置付け	1
3 計画期間	1
4 京都市の特色	2
5 子ども・若者やその家庭を取り巻く現状	2
6 策定の基本理念	4
7 目指すべきまちの姿	4
第Ⅱ部 具体的方策	5
第1章 優先的に取り組む事項	5
重点1 安心して妊娠・出産できる環境づくりと子どもの学び・育ち合い	5
重点2 若者のライフデザイン形成への支援	7
重点3 子育て家庭・子ども・若者の孤立防止	9
重点4 特に支援を要する子ども・若者やその家庭への支援	11
重点5 はぐくみ文化を推進するネットワーク機能の強化	13
重点6 真のワーク・ライフ・バランスの更なる促進	14
第2章 施策の体系 ～3つの柱～	15
1 ライフステージに応じた子ども・若者の成長	15
妊娠・出産～乳幼児期	
(1) 母子保健	15
乳幼児期～学童期	
(2) 乳幼児期の子育て支援	16
(3) 幼児教育・保育	18
学童期～思春期	
(4) 子どもの教育環境	20
(5) 放課後の子どもたちの居場所づくり	21
思春期～青年期	
(6) 思春期保健	23
(7) 若者の自己成長と社会参加	23
ライフステージ全般	
(8) 子育て家庭の生活の安定や子ども・若者の健やかな成長に資する継続的な取組	24

2	特に支援を要する子ども・若者やその家庭への支援	25
(1)	貧困家庭の子ども・若者への支援	25
(2)	児童虐待対策, 少年非行対策, 社会的養育の推進	27
(3)	困難を有する若者への支援	29
(4)	障害のある子どもへの支援	30
(5)	ひとり親家庭支援	33
3	子ども・若者とその家庭をみんなで支え・はぐくむ社会	35
(1)	次代を担う子ども・若者をはぐくむ地域共生社会の推進	35
(2)	親育ち促進	37
(3)	「真のワーク・ライフ・バランス」の促進	38
第3章	各種需給計画 ～ニーズとサービス量の見込み～	39
1	子ども・子育て支援事業計画	39
(1)	教育・保育提供区域の設定	39
(2)	幼児教育・保育の量の見込み並びに提供体制の確保の内容及びその実施時期	40
(3)	地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びに提供体制の確保の内容及び その実施時期	43
(4)	幼児教育・保育の推進に関する体制の確保の内容	46
(5)	子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保の内容	46
2	障害児福祉計画に掲げる数値目標	47
3	社会的養育推進計画に掲げる数値目標	48
(1)	代替養育（施設入所・里親等への委託）が必要な子どもの数	48
(2)	一時保護が必要な子どもの数の見込み	50
第Ⅲ部	計画の推進に当たって	51
1	計画の進捗管理	51
2	計画の進捗状況を示す指標	51
3	京都市はぐくみ推進審議会からの提言	52